

10 D: 187-193, 1961. 9. Miller, J. H. and M. G. Burton: Study of *Bagnisiopsis* species on the Melastomataceae in Mycologia **35**: 312-334, 1943. 10. Petrak, F.: Über *Bagnisiopsis* und verwandte Gattungen in Hedwigia, **68**: 251-290, 1928. 11. Theissen, F. and H. Sydow: Dothideaceen-Studien II in Ann. Mycol. **12**: 268-281, 1914. 12. — and —: Die Dothideales in Ann. Mycol. **13**: 149-746, 1915.

* * * *

Coccodiella 属は 1911 年に原撰祐によって設立され、1 属 1 種で日本特産の菌類の属として取り扱われてきた。*Coccodiella* 属の子嚢胞子は最初 3 細胞からなるとして記載され、のち原自身によってこれが訂正されて単細胞からなることが明らかにされたが、外国の学者には誤ったまま伝えられていた。子嚢は単膜の構造からなり、頂部はやや肥厚するが沃度には反応を示さず、また特別の頂部構造も認められない。これらの子嚢、子嚢胞子、あるいは子座、子嚢殻などの形態からみて、*Coccodiella* 属は Sphaeriales 中の Polystigmataceae に属し、しかも従来知られている *Coccostroma* Theissen et Sydow (1914) とまったく区別することができない。したがってこの両属はたがいに synonym の関係にあると考えられるので、先名権によって *Coccodiella* を採用し、この属に入るべき基準種以外の 23 種の菌類について新組合せを行なった。

Coccodiella 属の菌類はほとんど南アメリカないし中央アメリカに産し、種々の植物の葉に寄生するが、*C. capparidis* のみはインドおよびパキスタンに産して *Capparis* 属の植物の枝に寄生し、日本および台湾に分布して種々のタケ、ササ類の葉に寄生する基準種 *C. arundinariae* とともに特異な種類である。

□ G. F. Leedale: **Euglenoid flagellates.** pp. 242 Prentice-Hall, Inc. Englewood Cliffs, N. J. U.S.A. (1966). \$6.95. 著者は英国リーズ大学教授。この類の細胞分裂の研究者。前三分の一は分類を扱い新たに 6 目に分ち、その下の科、属と主な種を網羅し、よく整理された記述と、多少模式的だが分りよい図解で解説する。残り三分の二は核、外皮、endoplasmic reticulum、口、べん毛、眼点、収縮胞、ゴルジ体、ミトコンドリア、リソゾーム、葉緑体、ピレノイド、パラミロン、消化胞などの細胞器官を、片はしから見事な電顕、あるいは位相差顕微鏡写真を縦横につかって記述する。美しいと同時に細胞の妙を満喫するによい。11本のフィブリルを押しひろげたべん毛の分解線など感嘆を禁じえない。

(前川文夫)